



プレスト

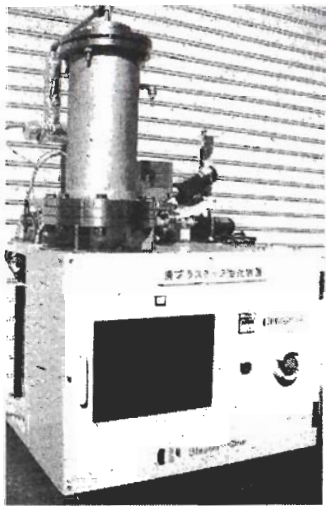
廃プラから軽油

小型油化装置 資源再生に効果期待

廃プラスチックを油に戻す油化装置の小型・安全化に取り組むプレスト(伊東昭典社長、神奈川県)ではこのほど、四年余りの歳月をかけて小型廃プラ油化装置「プレスター」を完成させた。

同装置は低価格でコンパクト、二十四時間連続運転が可能となっており、用途に応じた規模で数種類の装置が用意されている。処理できる3P(ポリプロ

ピレン、ポリスチレン、ポリエチレン)は、廃プラスチックの七割近くを占め、塩化ビニールの規制が強まる中、3Pを油化する取り組みは今後ますます広がっていくと期待される。その様子はTBS



系列「夢の扉」でも紹介され、「ゴミ」から「油」が生まれる現実を目の当たりにした子供たちが感動する姿が放映された。

再生油はガソリン、灯油、軽油などに精製でき、そのままバーナー用燃料としても使用できる。法的な問題からトラックの燃料には使えないが、それが解決すればトラック業界でも社会貢献事業を広げるツールとして、大きな効果を発揮すると期待される。

(松本吉敏)

レイアウト・松本吉敏